

事業番号	15 03 01	事業改善シート（30年度実施事業分）	□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	高等学校学びの支援事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	高校教育課
			実施期間	S27～	E-mail	koko@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進		2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保			
	1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり					

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	・国内外の大きな社会変動による先行きの不透明な時代を生き抜くためには、自ら問題を発見し、答えを生み出し、新たな価値を創造していくための資質・能力が必要であるとの背景のもと、学習指導要領改訂、高大接続改革により、高等学校教育の転換が求められている。また、全国的に少子化が進行しており、長野県においても同様の傾向が見られ、今後も長期的に子供の減少は続く見通しである。 ・帰国子女や外国籍、障がい等により授業や日常生活に支障のある要支援生徒に対しては、専門性の高い知識を有した外部人材等による適切な支援が必要とされている。	30年度予算額	960,665千円
		職員数	15.24人
目指す姿	・長野県の高校教育として多様な学びと学びの仕組みを用意し、すべての高校が、これからの時代に必要とされる新たな学びに転換することによって、すべての生徒が自らの夢を見つけ、夢に挑戦する学びの実現を目指す。また、新たな学びを支える環境づくりを推進し、各校の規模や特色を生かして、活力の維持と学びの質の向上を図る。 ・要支援生徒が在籍する高等学校において、校内相談、支援体制を構築・拡充し、授業や日常生活へのより速やかな適応を図る。 (主な実施内容:高校改革～夢に挑戦する学び～の推進、施設・設備等整備、特色学科の設置運営、要支援生徒の学びの支援など)		

事業	区分(単位:千円)	28年度	29年度	30要求	30予算案	指標及びその達成状況						
						No	成果指標	28年度末	29年度末(見込)	30年度		
コスト	予算額	前年度繰越	310,359	64,153								
		当初予算	3,552,794	2,451,232	1,282,828	960,665						
		補正予算	-162,576	0								
		合計(A)	3,700,577	2,515,385	1,282,828	960,665						
	Aの財源	一般財源	1,463,233	850,064	834,397	588,234						
		県債	2,199,000	1,615,000	429,000	353,000						
		国庫支出金	38,341	50,316	19,428	19,428						
		その他	3	5	3	3						
	決算	額(B)	3,626,499									
		概算人件費	職員数(人)	12.38	13.38	15.74	15.24					
概算人件費(C)			97,975	105,889	124,566	120,609						
概算事業費(B(A)+C)		3,724,474	2,515,385	1,407,394	1,081,274							
						①	高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針の策定	—	実施方針(案)を公表	平成30年9月策定		
						②	国際観光科に入学した生徒のうち、県外出身者の割合	34.20%	52.94%	37.5%		
						③	モデル校卒業生の地元就職率	H27年度末実績から平均5.5ポイント増	H27年度末実績から平均6.0ポイント増	H27年度末実績から平均8.75ポイント増		

成果指標設定理由	①21世紀型学力の育成推進に向けて、高校改革～夢に挑戦する学び～を計画的に実行するため、実施方針の策定期限を設定。 ②地域の観光産業を支え、発展させる人材育成を目指して、全国募集を行っていることから国際観光科入学生徒数に占めるの県外出身者率を設定。 ③地域産業界が求める人材育成を目指して、モデル校卒業生の地元就職率を設定。
----------	--

指摘事項等への対応	指摘事項	対応
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善	該当なし	

予算要求からの主な変更点	(特色ある学科設置事業費)過去の執行状況を考慮し、ピアノ更新経費、高校改革事業の地域懇談会等に要する経費等を減額 (初度調弁費)過去の執行状況を考慮し、調度品の購入経費を減額 (高等学校施設整備事業費)事業の緊急度等を考慮し、工事費等を減額
--------------	--

2 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	細事業名	30年度 実施内容	職員数(人)	29年度(当初)	30年度	
					(要求)	(予算案)
1	日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業費	帰国子女及び外国籍生徒等の生活を支援するため、関係校に支援員を配置(延べ1,030時間)	0.04	3,075	3,095	3,095
2	定時制課程運営費	特別支援教育支援員の配置 6校分、4名分(配置委託) 消耗品の購入及び設備整備 2校、教科書購入費補助16校	0.64	14,167	14,456	14,456
3	通信教育運営費	通信制生徒子弟等託児所保育士の配置 2校分、4名分 教科書購入費補助2校	0.12	1,670	1,583	1,583
4	高等学校理科教育設備・産業教育設備整備事業費	理科教育設備整備、老朽設備の更新4品目(4校) 産業教育設備修繕、老朽設備の更新6品目(6校)、電子計算組織等のリース・運営・維持	1.00	270,090	270,407	270,407
5	特色ある学科設置事業費	再編施設整備に伴う代替施設使用料、新校舎への備品運搬費 高校改革～夢に挑戦する学び～実施経費	8.44	169,539	152,101	131,801
6	初度調弁整備事業費	再編により施設整備を行う学校の初度調弁整備 1校	1.00	7,426	1,071	911
7	高等学校施設整備事業費	老朽校舎改築 4校	2.50	449,124	589,660	287,957
8	高等学校再編施設整備事業費	第1期長野県高等学校再編計画に基づき、再編統合を行った学校の施設整備 1校	0.50	1,440,331	204,612	204,612
9	地方創生のモデルとなる新しい高校づくり推進事業費	カリキュラム・コーディネーターの配置、生徒の全国募集活動、T・T・高大連携授業の実施、学校運営協議会の設置・運営	0.50	5,581	6,987	6,987
10	学びと働きを連携させた信州創生のための新たな人材育成モデル事業費	成長産業・基幹産業における人材育成…7校 コーディネーターの設置、カリキュラムの充実 地域の可能性を再発見する郷就人材育成…4校 ワークショップの開催、事業所視察、デパートサミットの開催	0.50	90,229	38,856	38,856
合計			15.24	2,451,232	1,282,828	960,665